

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

区名	事業名称	実施主体					
南区	南区防災活動支援事業	南区役所自治推進課					
事業目的		事業内容		活動指標	成果		
					H28	H29	H30
<p>災害に備え、平常時から防災・減災を心がけ、自助力、共助力を高めておく必要がある。なかでも、地域における自主防災組織を中心とした共助の役割が非常に重要である。そのため、南区の自主防災組織の更なる質的向上を図ることを目的とする。</p>		<p>各校区の自主防災組織の役員やリーダーとなる方々、あわせて校区からの推薦で資格を取得した防災士を対象に、熊本地震で実際に避難所運営に携わった方を講師として招聘し、「地域の自主防災活動」に関する研修を実施する。</p>		研修回数	1		
				出席人数	118		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	<p>多発する自然災害に対して、行政、自主防災組織のリーダーや防災士が協働で取り組むことで、地域における防災・減災、また、自助力・共助力を高めることにつながるため当該事業の実施は妥当である。</p>	○	<p>各校区の自主防災組織のリーダーや役員、校区からの推薦で資格を取得した防災士 + 行政による研修会の提供 + 地域住民への理解及び防災意識の向上</p>	△	<p>地域リーダーの方の経験談を直接聞くことで、自助・共助の大切さをあらためて学ぶとともに、参加者の防災意識の向上を図ることができた。</p>	○	<p>区役所が講師を招聘し、かつ研修会を提供し、校区代表者が地域への周知を行う体制で実施し、それぞれの得意分野で協働しており、効率的な運営がなされていると言える。</p>
⑤自立発展性		総合評価					
△	<p>本事業は、区と自主防災組織のリーダーや防災士を中心に協働して実施していくものであり、今後についても、現状の体制で実施することが望ましい。</p>	○	<p>研修会では、熊本地震の被災経験を直接聞くことができ、想定外の事態が発生することや、自主防災組織があまり機能しなかったことなどを学んだ。発災時に避難所運営に携わる可能性が高い参加者にとって、今後の自主防災訓練を計画・実施するにあたり、考える契機となる研修会であった。</p>				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
<p>拡充 <u>継続</u> 見直し 廃止</p>	<p>今年度実施した研修会のアンケートをもとに、今後、地域の防災力のさらなる向上をめざした取り組みを行っていく必要がある。</p>						